

## 2025年度 授業コード: 21105700

授業科目	看護研究演習				実務家教員担当科目	○					
単位	3	履修	選択	開講年次	4	開講時期	通年				
担当教員	目野 郁子										
授業概要	<p>既習の知識・技術、理論や臨地実習の経験を基に、自ら看護に関する研究テーマを設定する。文献検討を深めて研究計画を作成し、研究方法、論文作成、研究発表等 演習を通して一連の研究活動の基本を学ぶ。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として専門領域で臨床経験を有する教員が、各自その経験を活かし教授する。</p>										
授業形態	対面授業			授業方法							
<b>学生が達成すべき行動目標</b>											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既習の知識・技術、理論、臨地実習の経験を基に、各指導教員とディスカッションしながら看護に関する研究テーマを設定できる。(DP2-1.4-2.4-3)</li> <li>2. 研究テーマにおける問題解決や仮説を検証するために、倫理的配慮に基づく研究計画を作成できる。(DP2-1.4-2)</li> <li>3. 研究計画に基づいて、調査研究や実験等を実施できる。(DP2-1.4-2)</li> <li>4. 得られたデータの解析処理を経て、論文を作成できる。(DP2-1.4-3)</li> <li>5. 研究のプレゼンテーションができる。(DP4-2)</li> </ol>										
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自ら問題意識を持ち積極的な姿勢で、一連の研究過程（行動目標1-5）に取り組む。また、研究過程においては、倫理的配慮に留意し、研究対象者の権利についても考えることができる。</li> <li>2. 論文作成のルールや技術を学び、指導教員の指導を受け、よりよき論文作成・発表に向け、文献検索や修正をいとわず、意欲的に行動し、完成度の高い論文をめざして努力することができる。</li> <li>3. 発表抄録を作成し、効果的でわかりやすい発表となるよう、工夫することができる。</li> </ol>										
<b>評価方法・評価割合</b>											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験		0									
小テスト		0									
レポート		70									
発表（口頭、プレゼンテーション）		10									
レポート外の提出物		20				0					
その他		0									
<b>カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング</b>											
DP1	-	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU31406J
<b>学習課題（予習・復習）</b>										1回の目安時間（時間）	
各担当教員より指示する。										1	
<b>授業計画</b>											
第1回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（各担当教員） 看護研究演習のねらい、授業概要、到達目標、研究過程、評価等を説明する。</li> </ol>										

	<p>2. 研究における倫理的配慮、論文作成のルールや技術、文献検索等について各指導教員からレクチャーを受ける。</p> <p>3. 学生は教員の指導・助言を受けながら、主体的に、倫理的配慮に基づく一連の研究過程に取り組む。</p>
テキスト	特になし。必要に応じて文献等を紹介する。
参考図書・教材 ／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じ、担当教員が紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	課題達成については個別にフィードバックします。
学生へのメッセージ・コメント	<p>既習の看護研究で使用した資料等を確認し、復習しておくこと。</p> <p>レポートについては、関連する先行研究等を読み込み、倫理的配慮を行ったうえで、客観的・科学的に考察をすること。</p> <p>割り振られた時間内に限らず、指導教員と調整を図りながら自主的に研究に参加し、積極的に課題に取り組むこと。</p>